

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月28日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考	
							二次評価結果 評価結果		
千葉県バス対策地域協議会	小湊鉄道株式会社	牛久線 茂原駅南口～長南営業所～牛久駅	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率42.6%) 【効果達成状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う、運送収入の減少に伴い、収支率は前年度より3.1%悪化し、39.5%に減少した。	バス路線の利用実態調査結果をもとに、一部重複する関係系統等を含めた再編について関係者間で協議する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。
	小湊鉄道株式会社	大多喜牛久線 大多喜車庫～循環器病センター～牛久駅	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率37.2%) 【効果達成状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う、運送収入の減少に伴い、収支率は前年度より4.7%悪化し、32.5%に減少した。	バス路線の利用実態調査結果をもとに、一部重複する関係系統等を含めた再編について関係者間で協議する。	
	小湊鉄道株式会社	茂原長南線 茂原駅南口～長南～長南営業所	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率38.4%) 【効果達成状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う、運送収入の減少に伴い、収支率は前年度より3.1%悪化し、35.3%に減少した。	バス路線の利用実態調査結果をもとに、一部重複する関係系統等を含めた再編について関係者間で協議する。	
	小湊鉄道株式会社	茂原ロングウッド線 茂原駅南口～郡界橋～ロングウッドステーション	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率41.0%) 【効果達成状況】 利用者数の増加により運送収入は増加し、また、経費節減に伴い、経常費用も減少したものの、運送収入以外の収入の減少に伴い、収支率は前年度より0.1%悪化し、40.9%に減少した。	バス路線の利用実態調査結果をもとに、一部重複する関係系統等を含めた再編について関係者間で協議する。	
	小湊鉄道株式会社	塩田喜多線 塩田営業所～浜野駅東口～喜多	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率69.4%) 【効果達成状況】 利用者数の増加により運送収入は増加し、また、経費節減に伴い、経常費用も減少したものの、運送収入以外の収入の減少に伴い、収支率は前年度より0.2%悪化し、69.2%に減少した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正を検討していく。	
	小湊鉄道株式会社	大網白子車庫線 大網駅～白里海岸～白子車庫	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	C	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率60.8%) 【効果達成状況】 利用者数の増加により運送収入は増加したものの、運休を行った昨年度より実車走行キロが増加したため、経常費用も増加した。その結果、収支率は前年度より0.4%悪化し、60.4%に減少した。	ホームページ等で路線バスのPR及び利用促進を図る。	
	小湊鉄道株式会社	大網サンライズ九十九里線 大網駅～白里海岸～サンライズ九十九里	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A	【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率59.3%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は2.4%増の61.7%に改善した。	ホームページ等で路線バスのPR及び利用促進を図る。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考
							二次評価結果 評価結果	
千葉県バス対策地域協議会	九十九里鉄道株式会社	片貝循環豊海線 東金駅～家徳・幸田～東金駅	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率51.9%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は2.4%増の54.3%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	
	日東交通株式会社	馬来田線 木更津駅東口～清見台東～東横田	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率26.8%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は7.6%増の34.4%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	
	日東交通株式会社	三島線 木更津駅西口～八重原～中島	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率42.6%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は3.1%増の45.7%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	
	日東交通株式会社	姉ヶ崎線(平岡小) 姉ヶ崎駅～平岡小前～茅野	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率61.5%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は4.7%増の66.2%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	
	日東交通株式会社	姉ヶ崎線(桜台団地) 姉ヶ崎駅～桜台団地～茅野	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率63.1%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は4.8%増の67.9%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	
	日東交通株式会社	君津市内循環線 八重原A3棟前～君津製鉄所～君津駅北口	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率56.5%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は1.9%増の58.4%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	
	日東交通株式会社	畑沢線 木更津駅西口～東畑沢～君津駅南口	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率42.9%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は6.9%増の49.8%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。 	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考	
							二次評価結果		
							評価結果		
千葉県バス対策地域協議会	日東交通株式会社	高倉アカデミア線 木更津駅東口～かずさアーク～かずさ小糸南	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率46.2%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は3.9%増の50.1%に改善した。	かずさアカデミアパーク内に進出を検討している企業に向けて、路線のPRを継続して行う。	
	日東交通株式会社	富津線 木更津駅西口～青堀駅～富津公園	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率70.2%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は2.6%増の72.8%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	
	日東交通株式会社	館山鴨川線 館山駅～鴨川駅～亀田病院	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	B	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率35.8%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は0.2%増の36.0%に改善したものの、目標は未達成。	利用状況を分析するとともに、事業者及び関係市町の連携による利用促進策の実施を検討する。	
	日東交通株式会社	館山市内線 館山航空隊～なむや～小浜	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	B	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率41.6%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は0.5%増の42.1%に改善したものの、目標は未達成。	利用状況を分析するとともに、事業者及び関係市町の連携による利用促進策の実施を検討する。	
	日東交通株式会社	木更津鴨川線 亀田病院～かずさアーク～イオンモール木更津	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率32.9%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は4.3%増の37.2%に改善した。	鉄道のダイヤ改正にあわせて、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。	
	日東交通株式会社	鴨川市内線 誕生寺入口～鴨川駅～仁右衛門島入口	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率51.1%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は1.9%増の53.0%に改善した。	利用状況を分析するとともに、事業者及び関係市町の連携による利用促進策の実施を検討する。	
	ちばフラワーバス株式会社	八街線 成東駅～埴谷～八街駅	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	A	【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率32.1%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は6.8%増の38.9%に改善した。	花火大会・祭り等のイベントに併せ、利用促進PR等の実施を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
千葉県バス対策地域協議会	ジェイアールバス関東株式会社	多古本線 八日市場～多古～成田	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率50.4%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は3.6%増の54.0%に改善した。	新型コロナウイルス感染症の影響による利用状況を分析するとともに、その利用状況に即したダイヤ改正を検討する。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
	ジェイアールバス関東株式会社	南房州本線 館山～安房神戸～安房白浜	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率43.6%) 【効果達成状況】新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う、運送収入の減少及び燃料等高騰に伴う経費の増加に伴い、収支率は前年度より7.1%悪化し、36.5%に減少した。	交通系ICカードの導入など、利用者サービスの向上策を検討する。		
	ジェイアールバス関東株式会社	栗源線 多古台バスターミナル～高根～佐原	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率37.1%) 【効果達成状況】燃料等高騰に伴う経費の増加に伴い、収支率は前年度より1.4%悪化し、35.7%に減少した。	運送事業者及び関係市町で連携し、買い物利用の促進等を検討する。		
	京成バス株式会社	北部循環線 草野車庫～八千代台駅～いきいきプラザ	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率28.2%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は3.2%増の31.4%に改善した。	運送事業者、関係市、地元自治会からなる三者会議を開催し、利用促進策や課題等について協議を行う。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村等と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
	茨城急行自動車株式会社	岩井線 野田市駅～下町～岩井車庫 車両減価償却費補助1台	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R3年度収支率67.0%) 【効果達成状況】前年度と比べて、収支率は7.7%増の74.7%に改善した。	運賃等の見直しを検討する	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
千葉県バス対策地域協議会	千葉中央バス株式会社	おまご線 千城台駅～沖十文字バス乗換場・農政センター～千城台駅	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率17.1%) 【効果達成状況】 前年度と比べて、収支率は2.4%増の19.5%に改善した。	沿線観光資源との連携や運行計画の見直しなど、利用促進策について、運送事業者、関係市、地元自治会からなる運行協議会において、協議・検討する。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・アフターコロナにおける利用状況等の検証を行うとともに、関係市町村と連携し、地域のニーズと合った運行計画の策定や引き続き効果的な利用促進策が期待されることから進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
	千葉交通株式会社	成田佐原線 京成成田駅～来光台～佐原粉名口車庫	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率65.0%) 【効果達成状況】 燃料等高騰に伴う経費の増加に伴い、収支率は前年度より4.8%悪化し、60.2%に減少した。	運送事業者及び関係市町で連携し、買い物利用の促進等を検討する。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・ICカードシステムの導入などの利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
	千葉交通株式会社	銚子旭線 東芝町/双葉町～イオンモール銚子～旭駅	関係市町村とともに、新型コロナウイルス感染対策について、ホームページやバス車内への掲示等、取組内容を周知し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R3年度収支率58.4%) 【効果達成状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う、運送収入の減少及び燃料等高騰に伴う経費の増加に伴い、収支率は前年度より8.0%悪化し、50.4%に減少した。	交通系ICカードを導入したことにより、利用者サービスが向上されたため、関係市と協力し周知を図る。		

第三者委員会における各委員からの意見

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。
 ○お出かけの様式の変化について、新しい行動パターンに対応する交通システムについても、今後積極的に仕掛けることが重要。
 ○ポイントは、「データ」や「デジタル化」であるが、デジタル化するだけで課題や問題点が解決するわけではないため、都県や市町村との日常的なコミュニケーションや議論が重要。